

### 2018年4月、文学部英文学科が「総合英語学科」へ ビジネス学部ビジネス学科は2専攻制へ

1975年の本学開設と同時に設置された文学部英文学科は、開設当時のポリシーを引き継ぎつつ、社会のニーズに答え、より高度で実践的な英語運用能力と鋭い国際感覚を備えた多様な国際社会に通用する職業人を育成することをめざし、2018年4月より「総合英語学科」へと深化します。

「総合的に英語を教育する学科」として、英語の4技能の錬磨はもちろん、国際文化、海外留学、そしてキャリア教育に特化した多様な科目を用意しています。

また、ビジネス学部ビジネス学科は、2018年4月より「現代ビジネス専攻」と「グローバルビジネス専攻」の2専攻制へ変更します。



### 第2回オープンキャンパスに5741人が来場!

7月22日・23日に「第2回オープンキャンパス」が長久手・星が丘両キャンパスにて開催されました。不安定な天候にも関わらず、合計で5741人の来場者が愛知淑徳大学を訪れました。毎年第2回オープンキャンパス限定の「模擬授業」や「公募制推薦入試対策講座」では、多くの方が熱心に受講する姿が見受けられました。また、各学科・専攻の教員が魅力を伝える「学科・専攻説明」、入試方式や併願方法などを知ることができる「入試説明」なども好評でした。さまざまな企画内容で愛知淑徳大学の学びが体感できた2日間。来場した皆さんは、充実した1日を過ごされていたようです。



### 交流文化学部3年・義村萌さんが クライミングの世界大会に出場



今年夏、スイス、フランス、イタリアで開催されたIFSC（国際スポーツクライミング競技連盟）クライミングワールドカップに、交流文化学部3年の義村萌さんが出場しました。義村さんは中学時代から国内外の大会で入賞を重ね、高校時代からは5年連続で日本代表に選出。世界の大舞台に立ち、実力を磨き続けています。「世界ランキング10位内が目標です。クライミングが大好きだから、もっと強くなるためのトレーニングも大会出場も、すべてが楽しいと感じています」と義村さん。10月のえひめ国体ではリードクライミングのチーム戦で栄えある2位の成績を収めました。今後の活躍にも注目が集まります。

### 人間情報学部3年・古田港さんが ヨーヨー世界大会で準優勝



人間情報学部3年の古田港さんは、中学2年生のときに初出場したヨーヨーの世界大会「ワールドヨーヨーコンテスト」で優勝し、以来、国内外の大会で活躍し続けています。今年8月にアイスランドで開催された世界大会では、ヨーヨーを2個使用して演技する3A部門に出場。世界約30か国から集まったトッププレイヤーたちと技を競い合った古田さんは、ほぼミスのない演技を披露し、準優勝に輝きました。「競技ヨーヨーの魅力は、トリック(技)や演技の構成を自分で考え、新たな可能性に挑むこと。今後も技術力を高め、来年の世界大会では完璧な演技で再び優勝を手にしたいと思います」と抱負を力強く語りました。

### 「堀部安嗣展 建築の居場所」 愛知巡回展・講演会



都市環境デザイン専修の「デザインワークショップ」では、著名な建築家や東京のTOTOギャラリー間のご協力のもと、建築展をつくり上げます。全国的にも珍しい授業であり、会場設計から施工、宣伝、展覧会の運営までを学生主体で行います。18回目となる今年、連携したのは建築家・堀部安嗣氏です。3年生42人が力を出し合い、5か月かけて会場づくりに励みました。会期は9月2日から16日間で、9月9日には堀部氏の講演会も開催し、建築の役割やあるべき姿を来場者と共に考察しました。また、展覧会を見学した堀部氏は、学生たちの柔軟なアイデアや空間設計の力を高く評価し、称賛と激励の言葉を贈りました。



### 2016年度 留学生別科修了式

5月19日、留学生別科の修了式が国際交流会館にて挙行されました。別科教員やレジデント・アシスタント(RA)の学生が見守る中、6か国13人の修了生が本学での思い出を胸に式に臨み、島田修三学長から修了証書を受け取りました。修了生を代表し、北京师范大学からの交換留学生・朱笛(シュテキ)さんが、留学生生活の支えとなった別科教員や国際交流センター、共に学んだ友人への謝辞を日本語で述べました。島田学長は修了生の今後の活躍に期待を込め、あたたかなお祝いの言葉を贈りました。閉式後には、ティーパーティーを実施。RAが思い出ムービーを上映し、別れを惜しみながら楽しい時間を過ごしました。



### オーストラリア研修旅行

8月22日～30日の9日間、12人の生徒がオーストラリア研修旅行に参加しました。今回はメルボルン市内での研修、ミュージカル鑑賞など企画が盛りだくさん。研修前、オーストラリアに関する学習会で深めた知識を活かし、現地での異文化体験を有意義なものにしました。本校の姉妹校・セントキャサリンズ校との交流も、充実した時間になりました。同校の生徒の家庭で4日間ホームステイをし、また日本語の授業では淑徳生による郡上踊りの披露などを行い、交流を深めることができました。言葉の壁や異なる習慣に戸惑いながらも、貴重な経験を重ねて国際的な視野を広げ、生徒一人ひとりが大きく成長できたようです。



### 夏山登山

7月31日～8月4日、北アルプスの双六岳・三俣蓮華岳にて夏山登山を実施しました。中1から高3まで40人が参加し、学年の枠を越えて励まし合いながら登りました。

初日に新穂高温泉から林道を歩き、2日目は本格的な登山道を進みました。3日目は好天に恵まれ、槍ヶ岳・穂高連峰の絶景を

楽しみながらの稜線歩き。双六岳、三俣蓮華岳に登頂しました。雪渓での雪遊び、高山植物や雷鳥の親子との出会いも楽しめました。4日目は新穂高温泉までの長距離を下山後、奥

飛騨・平湯温泉で登山の疲れを癒しました。全員無事に全行程を登りきり、山の楽しさを十分に味わえた5日間でした。



### 理科旅行

8月7日から4日間、中1から高2の参加希望者83人で、伊豆、富士山方面のフィールドワークに出かけました。長寿台風5号の影響で一部行程の変更を余儀なくされたものの、書物や映像を通して学んだ動植物や鉱物、地形を間近で見ることができ、中でも富士山五合目お中道散策で見た景色

は圧巻でした。また、青木ヶ原樹海探検で「樹海は不気味な怖いところではなく、生命が生まれるところ」であると学び、さらに狭く暗い洞窟内を探検することで溶岩流を実感し、とても貴重な体験をすることができました。



### 中2 林間研修

5月8日～11日二班に分かれて林間研修を実施しました。飛騨一ノ宮では、57年ぶりの大祭が6日まで行われ祭の後の思わせる光景が見られました。民宿ではおはぎや五平餅の食体験と田植えをしました。淑友館では、4月当初より準備してきたスタンツの発表。どのクラスもとても立派なものになりました。その後家族から預かった手紙を静かに読み、さまざまな感情が湧いて涙が止まらない生徒が多く見られ、真摯に返事を書く姿が印象的でした。高山研修では、班毎に計画したプランを実行、高山の

名産に舌鼓を打ち林間研修を締めくくりました。初めての宿泊行事に不安や緊張を持ちながらもエネルギーいっぱいに取り組み、中2の良いスタートとなりました。



### 2017年度 中学校オープンスクール

6月3日に中学校オープンスクールの開催しました。初夏のさわやかな風を感じる過ごしやすい一日で、1906人の参加がありました。大アリーナでは2回の説明会を実施。校長挨拶と入試の説明、その後吹奏楽、管弦楽、合唱、バントワーリング、ダンスの各クラブが発表しました。教室では家庭科の織物

や理科の実験の体験授業などがありました。クラブの体験や見学は、教室、小アリーナや中庭、グラウンドで行われました。2018年度は、6月2日の開催を予定しています。さらに多くの小学生と保護者の皆さんにご参加いただき、愛知淑徳中学校・高等学校の教育に触れていただけたらと思います。



### 2017年度 愛知・岐阜私立中学フェア

7月22、23日に愛知・岐阜県内の26校が参加して「私立中学フェア」が開催されました。昨年に引き続きミッドランドスクエアが会場でした。また昨年よりさらに520人来場者が増え、6320人になりました。本校の相談ブースには2日合わせて240組の小学生と保護者が訪れ、熱心に質問し、説明に耳を傾けていました。4回ある学校紹介プレゼンテーションでは大勢の参加者があり、中学3年生の生徒の学校紹介に熱心に聞き入っていました。22日の午後からは管弦楽部がアトリウムイベントスペースで美しい音色を奏でました。23日には自然科学部が実験のワークショップを展開。参加者は興味深げに見入っていました。

